

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

[消費財関連事業]
〔住建事業〕

財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,887百万円増加し、286,542百万円となりました。これは、現金及び預金の増加(5,544百万円)、売上債権(受取手形、売掛金、電子記録債権)の減少(5,577百万円)、商品及び製品の増加(4,991百万円)が主な要因であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,914百万円減少し、167,372百万円となりました。これは、仕入債務(支払手形及び買掛金、電子記録債務)の減少(1,125百万円)、契約負債の減少(551百万円)が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5,801百万円増加し、119,169百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加(3百万円)を顕示

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

(5) 【大株主の状況】

--	--

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】



【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益		

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

前連結会計年度
(2022年 3 月31日)

当第 2 四半期連結会計期間
(2022年 9 月30日)

金融機関等に対するもの
当社グループ社員

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. E02560)

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

|

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

E02560)